

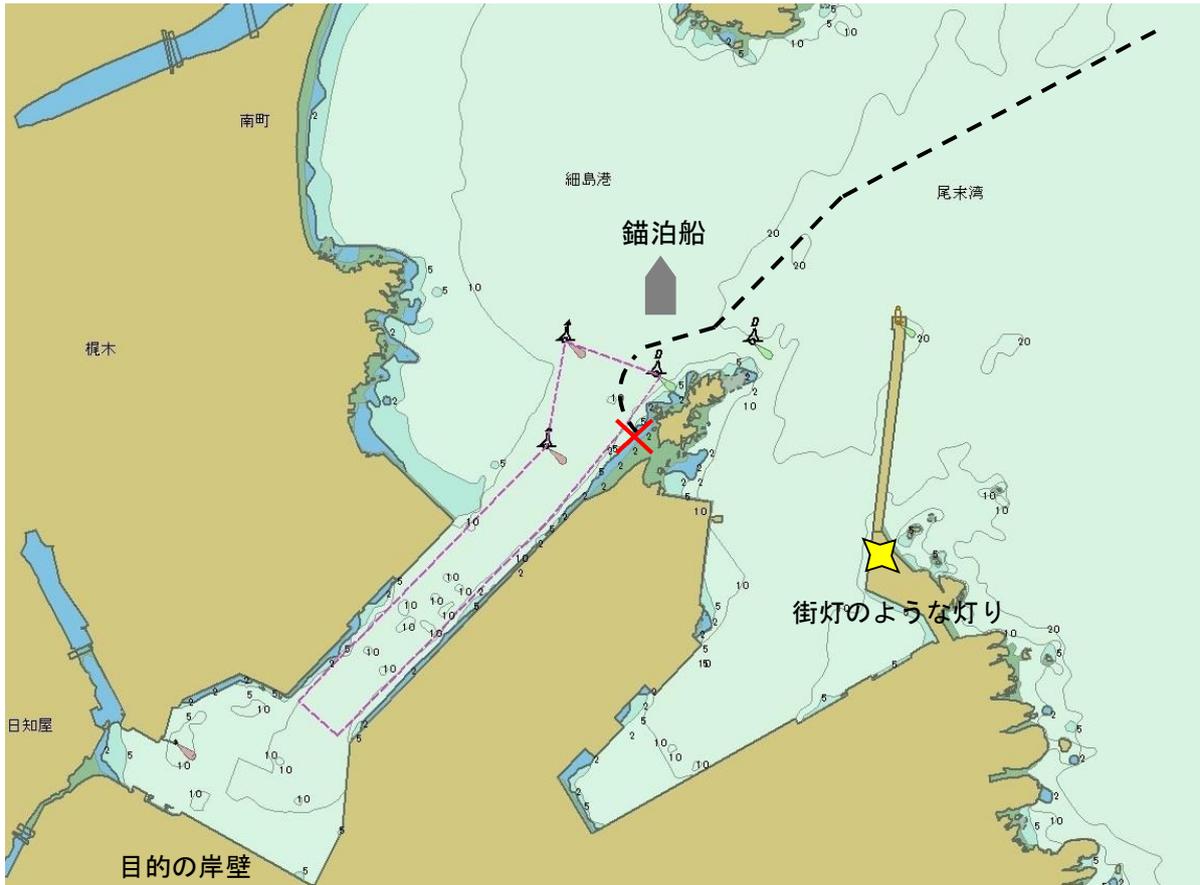
船舶事故調査報告書

令和6年6月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	令和5年11月14日 18時52分ごろ
発生場所	宮崎県日向市細島港 細島港余島防波堤灯台から真方位246° 1,110m付近 (概位 北緯32° 27.0′ 東経 131° 39.8′)
事故の概要	搭載艇11m作業艇は、航行中、浅所に乗り揚げた。
事故調査の経過	令和5年11月27日、主管調査官（門司事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	搭載艇 11m作業艇、6.2トン（排水量）
船舶番号、船舶所有者等	なし、防衛省
乗組員等に関する情報	艇長、操縦小型級（防衛省基準） 艇指揮、なし
負傷者	なし
損傷	プロペラ及びプロペラガードの曲損等
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 東、風力 3、視界 良好 海象：波高 約1m、潮汐 下げ潮の初期、潮高 約160cm（細島） 日没時刻：17時16分ごろ 月没時刻：17時40分ごろ（月齢1.0）
事故の経過	<p>本船は、艇長及び艇指揮ほか2人が乗り組み、細島港東方沖で錨泊中の護衛艦の乗組員23人を乗せ、同艦から陸上に同乗組員を輸送する目的で細島港の工業港内の岸壁に向けて出航した。</p> <p>艇長は、細島港内を航行した経験がなかったが、灯浮標と陸上の灯^{あか}りを目標にすれば工業港内の岸壁付近まで航行できると考え、目視による見張りをを行いながら、手動操舵により航行した。</p> <p>艇指揮は、艇長の後方で見張りをを行うとともに、スマートフォンの地図アプリで船位を確認していた。</p> <p>艇長は、港内航路入口の細島工業港第3号灯浮標と同第4号灯浮標の間を通過した後、周囲を見回したが暗くて陸岸の様子が分からない状況であり、街灯のような灯りが見えたのでその方向へ低速力で航行して近づき、陸岸の様子を確認しようと考え、約3ノットの対地速力で南東進中、本船は、細島港竹島付近の浅所に乗り揚げた。</p> <p>本船は、艇指揮が本事故の発生を護衛艦に報告した後、自力離礁し、自力航行が可能であったが、他の搭載艇にえい航されて護衛艦に帰着した。</p> <p>(付図1 事故発生経過概略図 参照)</p> <p>艇長は、電子海図の情報及び計画針路線を記載した港内図を持参し</p>

	<p>ていたが、航行中、漁船と行き会ったり、無灯火の漁船を認めたりして、周囲の継続的な見張りをしていたので、停船して同図を確認したり、コンパスを確認したりしていなかった。</p> <p>艇指揮は、細島工業港第3号灯浮標と同第4号灯浮標の間を通過した後、スマートフォンの地図アプリで船位を確認していたが、船首方向及び航跡が表示されなかったため、竹島付近の浅所に向かって航行していることに気付かなかった。</p> <p>本船の喫水は、船首約1.0m、船尾約1.7mであった。</p>
分析	<p>本船は、細島港内を航行中、艇長が、暗くて周囲の陸岸の様子が視認できない状況下、街灯のような灯りの方向に低速力で航行して近づき、陸岸の様子を確認しようと考え、同灯に向けて航行したことから、竹島付近の浅所に乗り揚げたものと考えられる。</p> <p>艇長は、途中、漁船と行き会ったり、無灯火の漁船を認めたりして、周囲の見張りを継続して行っており、停船し、持参していた港内図及び船に備えられたコンパスを確認しないまま、街灯のような灯りに向けて低速力で航行したものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、夜間、本船が細島港内を航行中、艇長が、暗くて周囲の陸岸の様子が視認できない状況下、街灯のような灯りの方向に低速力で航行して近づき、陸岸の様子を確認しようと考え、同灯に向けて航行したため、竹島付近の浅所に乗り揚げたものと考えられる。</p>
再発防止策	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GPSやレーダーを備えていない小型船舶の船長は、夜間、目視で周囲の状況を確認することができない場合、停船した上で、海図、プレジャーボート・小型船用港湾案内等を確認し、コンパス等の船首方向を把握することができる計器を利用して進行方向を慎重に決定すること。 ・GPSを備えていない小型船舶の船長は、スマートフォンやタブレットで利用可能な「new pec smart」を利用するなどして水路状況と船位を確認できるようにすることが望ましい。 <p>(https://www.newpec.jp/一般財団法人日本水路協会HP参照)</p>

付図1 事故発生経過概略図



一般財団法人日本水路協会発行の航海用電子参考図 (new pec) 使用